

事務事業 No./名称	□サービス部門 青少年会館管理運営事業 □支援部門 こどもー24				ザイムスコード及び個別事業名						
					180	青少年会館管理事業					
主管課	青少年課		関連課	748 青少年会館管理事業							
分野名	青少年育成										
目標 (目標値)	成人のつどいや青少年育成事業の充実。青少年指導員など関係機関との連携強化。										
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考							
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)							
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯								
	会館 自主事業 参加者数	8,983人	8,268人								
運営資源 状況	決算値	37,504千円	44,584千円	指標と評価							
	(国・県)							指標	会館自主事業参加者		
	(負担金等)	1,865千円						評価	○		
	(一般財源)	35,639千円	44,584千円					◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人員配置数	0.5人	1.0人					目標値	実績値		
	人件費	4,890千円	9,033千円					20年度	10,600	8,268	
	協働の パートナー							21年度	10,700	8,983	
事務事業 運営経費	総事業費	42,394千円	53,617千円	22年度	10,700						
	市民1人当 りの経費	240円	304円	23年度	10,700						
	対象者1人 当りの経費	4,719円	6,485円	最終年度 (年度)	11,000						
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名										
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・学校やクラブ活動あるいは塾などで忙しい中高生の利用の促進									
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・中高生を対象とした水彩画教室を開催した。									
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・中高生の講座参加者を増やすことができなかった。									
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・講義・授業形式でなく、自由に参加できる手芸やクラフトワークの講座を計画した。 ・音楽室の防音が弱いので、バンド活動などでもできる防音に改修することを検討したい。									
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)							
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了											
評価結果	改善の必要性	青少年の交流拠点として、また青少年に対する啓発の場としての役割を担える環境整備に努めるとともに、(仮称)鎌倉市子ども・若者育成プランとの整合を図りながら、適正な管理運営に努めたい。			評価結果	改善の必要性	青少年活動の拠点となるよう、現在利用の少ない中高生向けの事業の充実や設備整備などに努め、青少年行政の充実を図りたい。また、今後策定される(仮称)鎌倉市子ども・若者育成プランとの整合を図りたい。				
B	有				B	有					
課長名		山田 幸文			部名・部長名		佐藤 尚之				